

## JIFAS 2015年事業計画の概要

### ■養殖

#### ◆アワビ

アワビ養殖技術に関連し、世界トップレベルの技術を要するオーストラリアと提携し研究開発を継続した成果を、メンバー各位の協力を得て事業化していきます。

その基本技術は、JIFAS が設立以来実証実験を重ねてきた閉鎖循環式陸上養殖システムの成果と、オーストラリア飼育システムの結集です。その中でも ADAM&AMOS 社の人工飼料技術（オーストラリアで90%のシェア）は、傑出したものがあります。

#### ・大規模事業

30年間にわたり事業継続し、年間200万個という世界最大のエゾアワビ生産技術をもつ、元正栄 北日本水産株式会社と提携し、その生産物の流通、加工製品の開発等を推進。同社は3.11の東日本震災でその設備の大部分を失いましたが、震災復興資金等の支援を得て、現在稚貝サイズが5cm近くまで成長するまで回復しています。太田市場内に中継ストックヤードを建設する作業も進んでいます。

#### ・小規模事業

地方創生という省庁横断で取り組む国家戦略のひとつとして、シャッター通りの再開発プロジェクトチームと連携をとり、熱意のある地域を中心に進めていきます。

#### ◆ウニ

### 画期的なウニ養殖技術の誕生・6~8か月で通年生産

この技術は、4年前からオーストラリアが開発に着手し2013年のJIFAS NEWSでも報じられています。本技術はADAM&AMOS社が開発した人工飼料が重要な要素となっています。

詳細に関しては機会をみて報じますが、本号ではその一端が分かる映像と、簡単な解説を掲載します。

#### ●閉鎖循環式陸上養殖を前提としたテスト用タンク

